

◆記号の説明

記号	名称	説明
I_s	構造耐震指標	建物の耐震性能を表した指標。 各階、各方向(X、Y)毎に建物の強度や粘り強さ、形状、経年変化などを考慮して算出する。 数値が大きい程耐震性能は高い。
I_{SO}	構造耐震判定指標	想定した地震に対して必要とされる建物の耐震性能を表す指標(基準値)。
$C_T \cdot S_D$ $C_{TU} \cdot S_D$	累積強度指標(C_T) 終局限界における累積強度指標(C_{TU}) 形状指標(S_D)	建物の強度を表した指標。 各階、各方向(X、Y)毎に算出し、粘り強さだけでなく一定の強度があることを確認する。
q	保有水平耐力に係わる指標	
Z	地域指標	地震活動度や地震動強さを考慮するための補正係数。 一般的に建築基準法の地域係数 Z (名古屋市は1.0)を用いる。
R_t	振動特性係数	建物の固有周期及び地盤の種別に応じた建物の振動特性により、地震力の値を補正させる係数。
G	地盤指標	地盤、地形、地盤と建物の相互作用を考慮するための補正係数。
U	用途指標	建物の用途を考慮するための補正係数。
$Q_u/\alpha \cdot Q_{un}$	保有水平耐力(Q_u) 必要保有水平耐力の補正係数(α) 必要保有水平耐力(Q_{un})	建物の耐震性能を表した指標。 各階、各方向(X、Y)毎に建物の強度や粘り強さ、形状、経年変化などを考慮して算出する。 数値が大きい程耐震性能は高い。
GI_s	構造耐震指標	上記指標($Q_u/\alpha \cdot Q_{un}$)に、建物に要求される機能に応じた重要度の考えを加えて、建物の耐震性能を表した指標。 数値が大きい程耐震性能は高い。